

# 研修係通信

真駒内中学校研修係

先日は、那須先生の「社会科」の授業が行われました。通信では、那須先生の「課題設定(導入)の工夫」と「振り返りの工夫」について紹介いたします。



## 研究内容1 「学びの質を高める授業改善の工夫」

### (1) 「課題設定(導入)」の工夫

導入の工夫は、学習内容を理解させ、本時のねらいに迫る(探求に迫る)ための子どもたちの思考を導くための原動力である。子どもたちの興味・関心を喚起し、子ども一人一人の課題解決の見通しをもたせ、多様な考えを引き出すために、導入の工夫を図った。

### <那須先生の実践例 中学校5組 社会科【人物名鑑を作ろう!】>

本時では、発表における「相手の聞き取りやすい声で話すこと」や「他のグループの発表をきちんと聞くこと」に留意して、本時の活動につなげた。

流れ	内容	教師の動き
導入 (5分)	○発表の注意事項の確認 <b>聞き取りやすい声の大きさとで発表すること。 他の人の発表を静かに聞くこと。</b> ○発表の流れの説明 ・織田信長(生活給食班)→豊臣秀吉(学習文化班)→徳川家康(保健体育班)の順で発表する。	・発表の注意事項を確認する。 
展開 (35分)	○発表(30分) ①教師の指示で発表の準備をする。 「○○班の人は準備をお願いします。」 	・作成した資料をモニターに移す。 ・発表の進行を行う。 ・発表時間をストップウォッチで計測する。 ・T <sub>2</sub> 、T <sub>3</sub> は巡視を行う

#### <参観者の先生の感想>


- 調べ学習の発表がメインのなかで、役割分担と協力性が見られました。
- 発表を楽しく聞けましたが、実際にタブレット(iPad)を使って原稿を作っているところの授業も参観したかったなと思いました。

目標の実現に向けて、子どもが主体的に学習することができるよう、導入の段階において、「学級全体の配慮(視覚的な支援や短く分かりやすい指示)」と「個別の支援」の両面の支援を図った。

(2)「振り返り（まとめ）」の工夫

思考力・判断力・表現力の育成につなげる手立てとして、終末(冒頭)において、子どもが学習した内容を振り返る機会を設け、子どもの学びの自覚や学習内容の確実な定着を図った。

<那須先生の実践例 中学校5組 社会科【人物名鑑を作ろう！】>

<p>展開 (35分)</p>	<p>⑤次のグループの発表へ</p> <p>内容</p> <p>① 出身地、旧名 ②年表 ③戦の名前 ④逸話・エピソード</p> <p>・1人1項目を担当する。</p> <p>※発表時間は1グループ10分【タブレット(iPad)】</p> <p>○発表の講評(5分)</p> <p>・今回の発表の良かった点を話す。(声の大きさ、資料やすさ、聞く姿勢等)</p>	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>自己評価</p> <p>インターネットが情報を集めることができた。 ⑤・4・3・2・1)</p> <p>集めた情報をわかりやすくまとめることができた。 ⑥・4・3・2・1)</p> <p>班の人と協力して取り組むことができた。 ⑥・4・3・2・1)</p> <p>聞きやすい声の大きさを発表することができた。 ⑥・4・3・2・1)</p> <p>他の発表を静かに聞くことができた。 ⑥・4・3・2・1)</p> <p>資料を作った感想(頑張ったところ、楽しかったところなど)</p> <p>資料を採集時に、タブレットだけでなく、教科書も使って採集することができました。</p> <p>どの班の資料が良かったか? (織田信長) 班</p> <p>その理由は?</p> <p>前班の画像説明をしている時に、説明している部分を拡大してくれたので、分かりやすかったです。</p> </div>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>○<b>振り返り</b></p> <p><b>発表の感想を書く</b></p> <p>・資料作成はどうだったか(難しかったところやうまくいったところ)</p> <p>・他のグループの資料のよかったところ</p> <p>○次時予告</p>	<p>想を記入させ</p> 

〈参観者の先生の感想〉

- 振り返りをプリントで行い、それに基づき何人かが発表して相互評価することで、自分の活動を見つめ直すことができていた。
- T3・T2の先生は、机間巡視を行っていたので、一緒にまわってあげると良いのではないのでしょうか。10分で12人は十分まわれます。
- 自己評価カードに自分の反省をしっかり記入させていた。

本時では、授業の最後に学習したことを振り返る時間を設定し、学習したことを生徒自身の言葉で振り返る活動を行うことで、「主体的な学び」へとつなげた。

◇その他 「指導技術」や「児童生徒の反応・様子」について

- タブレットをしっかりと使えていました。頻繁につかっているのでしょうか。
- iPadが効果的に使われていたと思います。リアルタイムで生徒の振り返りをカメラ機能で撮ったり、時間を計ったり、発表に使われていたり…大いに活用されていました。
- 生徒も声が大きく堂々とした発表で素晴らしかったです。
- せっかく使った資料がもう少しテレビで大きく見ることができるともっとよかったと思います。